

文京川柳会6月句会

2010・6・16 文京区民センター

6月句会は、総会が行われたため、講義はなく替わりに「川柳deゲーム」と題して「穴埋め川柳」「下五選び」「上五・中七・下五結びつけ」の三種6ゲーム。原句よりも発想の面白い作品もでき、作句力アップと共に語句のセンスも上がっているのが判った。恒例の互選互評による鑑賞力のブラッシュアップとヨシ江選の課題吟で作句力の確認をしました。

互選互評「比べる」(○数字は得票。ゴシックは一泉推選)

⑪ 選択を毎度後悔レジの列

- ⑥ 比較され尻をたたかれ定年日 三川
- ⑤ ソショウ症 どれだけ縮んだ背比べ 幻舟
- ⑤ ドイツでの座ったトイレ足着かず ちよ
- ⑤ 稼ぎより愛と笑顔だどう口説く グレート秀
- ④ 前同様 期待の鳩も基地で辞め 文泉
- ③ 「非武の島」病み本土では花見酒 昭邑
- ② 絹もめん奴はどちらマーケット 枇杷子
- ② 歩をあわせ常識論で比べる日 ま喜
- ② 競い合う馬の心もさぐりたい 雅子
- ② 井の中の蛙意識にいや気さし あさじ
- ② 知らないのそんなに「昔は良かった」の？ わさび
- ② 眉毛下げ十人十色を遣り過す 晏ね
- 円顔が良いのかまたも道きかれ 牛歩
- せいくらべじやないよ空の晴姿 ふくよ

「めがね」

牧内ヨシ江選

- サングラス 怖くなる人似合う人 三川
- * 眼鏡越し会話 晴れたり曇ったり 晏ね
- 意外にもめがねの女に脆い俺 グレート秀
- ブレのない心のメガネないものか 雅子
- 覗き見るめがねの奥のたくらみを ま喜
- 色眼鏡自分の無策他人のせい 昭邑
- メガネ換え見立ても変えて五七五 牛歩
- サングラス今年の流行聞いただけ ふくよ
- 色眼鏡外してわかる新事実 三川
- 声だけが瞳に残りコンタクト わさび

新年度から新会長・小林 枇杷子さんにバトンタッチ。それぞれの係りの選出も改まりました。二年目に向けてスタートです。

1年の成果は、コトバのセンスが鋭くなっていることでしょう。ゲームでは驚くような発想も生まれ、川柳家らしさが深まりました。経験の不足は、技巧的な面での作句力の不足を感じます。

特に、句のリズム感がまだ不鮮明で、互選でも「どれだけ縮んだ」とか「前同様」のようなやや間延びした言葉遣いが見られます。「どれだけ縮む」とか「こんな縮んだ」とすれば、もっと鋭くなります。「眉毛下げ」は「を」は不用。女子を省いても通じる場合があるのが短詩。「いや気さし」は「さす嫌気」など体言止にすると句の後に余韻が…。

よい句をたくさん読むことも上達の早道です。

次回は、句会形式で。

・・・

例会案内・7月21日

- 「驚く」牛歩選
- 「小石」あさじ選
- 「盛る」ふくよ選
- 「ゆっくり」雅子選
- 「弾む」一泉選